



# チャレンジ！一歩前へ

郡山市立橋小学校  
学校だより No.53  
令和5年12月19日  
文責：校長 酒井 健

## ◇橋地域公民館で「クリスマス会」が行われました。

12月16日(土)、橋地域公民館で社会福祉協議会橋支部の主催の「クリスマス会」が開催されました。60名を超える子どもたちが、橋公民館に集まり、楽しい「クリスマス会」となりました。

郡山キリスト福音教会聖歌隊の皆さんによる演奏があったり、楽しいマジックショーがあったり、みんなでゲームをしたり・・・とってもすてきな「クリスマス会」でした。私も参加させていただきましたが、子どもたちは、地域の方々に支えられていること、子どもたちは地域の宝物なんだということ強く感じました。企画・運営をしてくださった地域の実行委員の皆様に感謝いたします。



## ◇第1学年の学年行事で「和太鼓の迫力」を楽しみました！

12月18日(月)には、第1学年の学年行事が体育館で行われました。学年委員長の吉田真之介さんを中心として、学年委員の皆様で企画してくださり、帝京安積高等学校の和太鼓部の皆さんをお招きして、和太鼓のすばらしさを見て、聴いて、触れて・・・和太鼓の魅力を体感することができました。

帝京安積高等学校の和太鼓部の皆さんは、先日開催されました『太鼓祭2023 日本一決定戦』において、見事、日本一に輝きました。その迫力ある演奏と勇姿に、子どもたちも保護者の皆様も感動に包まれていました。私も聴いていて、和太鼓の魅力に引き込まれました。心踊る、素敵演奏会でした。

保護者の皆様、年末のご多用の中、学年行事にお集まりいただきありがとうございました。



## 校長のひとりごと

今から35年ほど前、平成元年度のお話です。この年、初任者として、私はいわき市の平駅のすぐそばの大きな学校に赴任しました。受け持ったクラスは5年2組、子どもたちは40人。若き青年教師は、何事にも燃えていました。体育では、倒立前転の見本を見せ、休み時間は、校庭で本気でドッジボールで遊び、放課後も特設合奏部で音楽指導にあたり・・・、授業では、子どもたちにとって楽しい授業、真剣に考えることができる授業を目指し、日々、奮闘していました。ある日のこと、図工で絵を描く授業で、ある女の子の絵を見て、何か物足りなさを感じた私は、「ここは、こんな風にするといいんじゃない」と絵に描き足してしまいました。「よかれ」と思ってやったことは、実は、その女の子の意図しているものとは全然違うものでした。その後が大変。女の子は泣き出すし、そのまわりには女の子たちは「〇〇ちゃん、かわいそ〜」「先生、なんで、そんなことしたんですか？」が始まるし・・・。何かやっている時の子どもたちは、自分の想いをしっかりとやっているんだということ。この時、知りました。

この子どもたちを卒業させてから、16年後、この女の子の結婚式にご招待を受け、恩師としてスピーチも行いました。この「描き足し事件」のことも述べました。同級会も、いわき市で定期的に行っています。この時の子どもたちも、今では46歳、みんなステキな大人です。自分にとって「子どもたちの本質」「子どもたちの心の声を聴くことの大切さ」をいろいろと教えてくれた子どもたち。教え子に逆に育ててもらいました。教え子は、いつまで経っても、かわいい少年・少女なんですね。